

## 序論)キリスト者が神様を疎遠に感じるとき

- 神様が遠くに感じられることはないか？
- AIのDeepResearchによる分析:「クリスチャンが神様との関係が疎遠に感じる時」
  1. 祈りや聖書の通読を怠るとき
  2. 罪を犯したとき、罪悪感を感じるとき
  3. 精神的・感情的な困難に直面するとき
  4. 人生の大きな変化や移行期にあるとき
  5. 苦しみや喪失を経験するとき
  6. 信仰の成長や試練のための神の導きによる時

## I. 祈りの背景(イザヤの状況)

- イザヤはアッシリアの攻撃、バビロン捕囚などを預言し、暗闇の中で祈った。
- 神様の民でありながら、悲惨な状況(63:18, 64:10-11)にあったイスラエル。
- 暗闇の中で神を求める祈りが大切。

## II. イザヤの祈りのポイント

### 1) 祈りの目的:神様の愛と力を求める

- 神様が目を向け、行動を起こしてくださることを願う。(63:15)
- 神様の愛と情熱が注がれるなら、どんな状況も回復できる。
- 私たちも神様との関係の回復を祈ることが大切。

### 2) イスラエルが抱えていた問題:罪の告白が必要

- 神との関係を壊したのは「罪」。(64:5b)
- 罪を隠すのではなく、素直に認め、神の赦しを求めるべき。(64:6-7)
- 罪を悔い改めないことが、神との関係をさらに遠ざける要因になる。
- ヨハネ第一 1:9:「罪を告白するなら、神は赦し清めてくださる。」

### 3) なぜ、あわれみを求めることができたのか

- 神様は「私たちの父」「贖い主」である。(63:16, 64:8)
- イスラエルは神によって造られた民であり、その関係は変わらない。
- 神に造られた者は神に愛される。だからこそ赦しを求めることができる。

#### 4) 神の力への確信

- 神は世界を支配し、全てを変える力を持つ。(64:1-3)
- 神の力を信じ、世界や現実を変えてくださることを期待して祈る。
- 人間のリーダー(例:トランプ大統領)よりも、神の支配は偉大。
- 「主が世界を、日本を、私たちの職場や家庭を変えると信じているか？」
- イザヤは神の力を信じたからこそ、救いを求める祈りを捧げた。

#### 結論)暗闇の中での祈り方

1. 神との愛の関係の回復を求める。
2. 罪を隠さず、告白し、赦しを求める。
3. 神に造られた者としての確信を持ち、神の愛を信じる。
4. 神の力を信じ、具体的な助けを求める。

→ 神様が遠くに感じるときこそ、愛と赦しを信じて祈ることが大切！

---

#### イザヤ書 63章 15節～64章 12節の構成

1. 63:15 【主】への懇願 ～見てください。あわれんでください～
2. 63:16 【主】とイスラエルの関係確認 ～あなたは私達の父、私達の贖い主～
3. 63:17 【主】が来て道を示してくださることを求める祈り ～なぜ、迷わせているのですか～
4. 63:18-19 イスラエルの現状報告 ～敵に支配されている～
5. 64:1-3 【主】が来られたらどうなるか ～山々がゆれ、世界が震える～
6. 64:4 【主】の唯一性の告白 ～【主】以外には世界を揺らすことはできない～
7. 64:5a 【主】が会われる者 ～【主】は義なる者と会われる～
8. 64:5b 【主】への問い ～罪の中にいた私達は救われるでしょうか？～
9. 64:6 罪の告白 ～汚れた者だった～
10. 64:7 ～御名を呼ばず、疎遠になった～
11. 64:8 【主】との関係の告白 ～【主】は父、【主】は創造者、私達は【主】の作品～
12. 64:9 【主】への再度の懇願 ～怒りを沈め、咎を忘れ、目を留めてください～
13. 64:10-11 再度のイスラエル現状報告 ～エルサレムと神殿が荒れ果てている～
14. 64:12 【主】の応答の懇願 ～まだ苦しめますか？～